

2022年9月15日

代表 泉 健太 様
代表代行（ジェンダー平等推進本部長） 西村ちなみ 様
幹事長 岡田 克也 様

女性議員ネットワーク運営委員会

夏季研修会を踏まえての女性議員ネットワークからの要望

去る8月27日に、立憲民主党女性議員ネットワークは夏季研修会を開催しました。泉健太代表には冒頭にご挨拶をいただくとともに、党の女性施策についてもお話しいただきありがとうございました。その後の講演会での質疑応答やグループ別交流会での議論を踏まえ、以下の要望を提出いたします。

【党内体制について】

- 党執行部の男女比が、同数から8月からの新体制では9人中2人と激減したことに私たちは大きな衝撃と失望を感じました。その背景については夏季研修冒頭に泉代表からご説明はいただいたものの、党がパリテ政策を打ち出す際の説得力の低下や、意思決定機関の多様性の後退が組織の弱体化をもたらす等の危惧をしていることを表明します。
- 執行部をはじめ地方組織も含めた党内各機関のパリテ化の実現を強く要望します。
- 地方組織の中には、女性議員が活動しにくい地域もあるのが実態です。各県連でのジェンダー平等意識の向上を党本部として主導するよう求めます。

【旧統一教会問題について】

- 旧統一教会については献金等の問題だけでなく、ジェンダー平等に反する主張が政権与党の政策に影響を与えているとの指摘もあります。立憲民主党として、ジェンダー平等の視点からの旧統一教会問題への切り込みを期待します。
- 旧統一教会と議員との個々の関わりを調査すること以上に大切なのは、被害の拡大防止であり、諸外国の制度も参考にしながらカルト指定に関わる立法化を急ぐ必要があります。旧統一教会と組織的なかわりのない立憲民主党だからこそできる政策です。併せて、カルト被害の実態調査や被害者救済も進めることを求めます。

【統一地方選挙等の選挙対策について】

- 来春の統一地方選挙において女性候補擁立に積極的に取り組むとともに、女性候補ゼロの選挙区をなくしていくための具体的な目標を立てることを提案します。
- 選挙を行う上で、女性が経済的・時間的・精神的に不利な環境になりがちである現実を踏まえ、新人並びに期数の少ない女性議員へのサポートを強化してください。総支部の枠を超えた女性議員とのシスターフッド形成など人的な支援体制づくりを党として応援してください。

- 地方においても LGBT+ の候補者が出馬しやすいよう、メッセージの発信を強化してください。
- 研修会での辻元清美参議院議員から、複数の女性議員による女性街宣が大きなインパクトがあったとのお話がありました。特に、女性議員の少ない地域において他地域から女性議員が応援に入れるよう経費等の支援をお願いします。
- 自治体選挙における女性候補応援のための経費の確保を求めます。

【ジェンダー平等政策について】

- 研修会で講師を務められた 30% Club Japan 創始者の只松観智子氏から、ジェンダー平等は SDGs の一項目ではなく、どの項目を進めるにあたってでも不可欠な横軸であることが前文にも明記されている旨、お話しいただきました。国会においても、予算をはじめ経済・雇用、福祉、医療、その他各分野においてジェンダー平等の視点を取り入れた活動を行っていただくよう要望します。

【ハラスメント対策】

- 今年5月から党ハラスメント対策指針が施行されました。しかし、指針について必ずしも各議員に認識されているわけではなく、具体的に何がハラスメントにあたるのかという共通理解も形成されていません。引き続き実効性のあるハラスメント対策を要望します。

【女性議員ネットワークの活動に対して】

- 女性自治体議員は各議会の中で圧倒的に少数派です。女性議員ネットワークでは全国から一堂に集まって研修・交流を行う全国研修会や、ブロック単位でも連携や学習する機会等、日常的な交流機会をつくっていきます。この活動に対する予算の確保を要望します。

以上